

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 天水町公民館施設維持管理業務	清掃、警備、点検等の施設管理委託を行う。	開館日数	日	242	246	244	240
② 天水町公民館図書貸出業務	天水町公民館図書を収集し貸出を行う。	図書貸出冊数	冊	954	1,116	1,376	1,300
③ 天水町公民館貸出業務	天水町公民館会議室の使用許可を行う。	公民館使用許可件数	件	797	788	797	780
④ 天水町体育施設貸出業務	天水町体育施設の使用許可を行う。	天水町体育施設使用許可件数	件	2,195	2,207	2,165	2,200
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	
1 公民館利用者数	公民館利用者延べ人数	人	14,150	14,500	14,000	15,000
			15,622	13,879	15,742	
2 図書室利用者数	図書室利用者延べ人数	人	300	300	300	400
			287	326	394	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。 <input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	市民が安全に安心して利用できるよう今後も施設管理を行う必要があり、事業を止めた場合社会教育施設として機能が失われ、市民サービスに支障をきたす。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。 <input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。 <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	図書室利用者や貸出冊数は、少しずつ増加して目標達成しているが、今後も利用しやすい図書室の環境づくりや図書資料を充実させる。また、子どもたちの利用者を増やしていくため学校との連携を図りながら公民館図書室の周知をしていく。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。 <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。 <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	冷暖房使用料の時間制(1時間当たり)の導入について検討する余地がある。	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	公民館は、地域住民にとって身近な学習の場であり、地域活性化にも重要な役割を果たしているため、利用者が安全に安心して利用できるように、今後も施設管理を継続する。また図書資料は、地域にあった専門誌(農業関係)を受入れ、親しみある図書室作りを進めていくとともに、小中学校との連携を図ることで利用者を増加させていく。
昨年からの見直し・改善状況【32】	図書室の絵本・児童書コーナーの環境設営を行ない子どもたちが親しみやすいコーナーにするとともに、天水地区の小中学校に図書カードの登録を呼びかける予定である。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	公民館の老朽化に伴い改修(修繕)等が多くなった。公共施設適正配置計画で周辺の公共施設との複合化の計画があるので現状のまま継続し、危険箇所を早急に対応しないといけない場合は、利用者が安全に安心して利用できるように修繕を行い施設を管理する必要がある。	評価責任者 坂本 政輝
------------------	---	----------------